



元 気 通 信

～かけ橋～

ブダペスト日本人学校
学校だより 第 11 号
令和 4 (2022) 年 2 月 11 日
校 長 松 丸 晴 美

「目標を見据えて最善を尽くす」

立春を過ぎ、日中は太陽の暖かな日差しを浴びて、半袖になって遊ぶ子供たちの姿から、春の足音が聞こえてきます。

先日 5 日 (土) には、土曜授業参観、保護者全体会及び作品展にご来校いただき、ありがとうございました。未だ新型コロナウイルス感染症が蔓延しているため、様々な制約がある中での開催となりましたが、各ご家庭にご理解とご協力をいただき、なんとか無事に終えることができました。

保護者の皆さまに、授業の中での子供たちの頑張っている様子やこれまで学習してきた成果の一端を直接参観いただけたことは、何よりのことと思います。

3 学期は、子供たちだけではなく、学校も 1 年間の教育活動の振り返りとまとめの時期になります。保護者全体会でもご報告いたしましたでしたが、課題をしっかりと把握し、要因を分析しながら来年度に向けて改善計画を作成して参りたいと考えています。



1 月には、子供たちが勝敗を競う大きな学校行事「カルタ大会」がありました。

どの対戦も、冬休みの間に時間をかけて練習していた様子が想像できる真剣で迫

力のある対戦でした。しかし、勝負の世界は厳しいものです。1 枚の差で敗れたり、実力を出し切れなかったり、はたまた組み合わせにくじ運がなかったりと、引き分けはありません。負けた悔しさを表情に表し、涙ぐむ子供も少なくありませんでした。そんな子供たちの様子を見ていて、有名なイソップ童話の「ウサギとカメ」の続編を思い出しました。

色々な「続編」があるようですが、私が思い出したのは、競走の途中で居眠りをしてカメに負けたうさぎが、リターンマッチを申し込むという話です。今度は、油断をせずに一気にゴールまで走ったウサギは、当然勝負には勝つのですが、すごく遅れてゴールに到着したカメが、勝負に負けたはずなのに、喜んでいるのを見て不思議に思うのです。カメは、「前回ゴールした時間より短い時間でゴールできたから、うれしいんだ。」と答えたとか。

カルタ大会でもきっと、「去年よりたくさん枚数がとれたから」「3 回戦まで進めたから」と自分で自分をほめた子供たちもたくさんいたと思います。

学校では、いろいろな機会に子供たちに「目標」を立てさせます。目標がどのくらい達成できたかということも大事ですが、他人との比較や競争ではなく、以前の自分に比べて、どのくらい成長したか、そのためにどのくらい努力したかという「ものさし」も大切にさせたいと思います。

修了式までひと月を切りました。自分の立てた目標を改めて確認し直して、1 日、1 日最善を尽くす子供であってほしいと願っています。

カルタ大会 各部の1位リーグ入賞者の皆さん

☆ 1、2年生の部 ☆

優勝 村田聡太郎さん
準優勝 三輪 夏希さん
第3位 山川 陽大さん



☆ 3、4年生の部 ☆

優勝 古川 瑞桜さん
準優勝 吉田 晴翔さん
第3位 野口 結衣さん



☆ 5年生以上の部 ☆

優勝 本多 由奈さん
準優勝 本多 理紗さん
第3位 中嶋 莉杏さん



【修了式前の早期帰国の場合】

3月11日（金）修了式を予定しています。それ以前に都合で帰国される場合、本校では1週間前から修了証をお渡ししています。修了式よりも早く帰国予定がある場合は、最終登校日を担任にお申し出ください。

【編入生の紹介】

新しく本校の仲間になった児童をご紹介します。佐藤謙龍さん（小5）です。1日も早く学校生活に慣れ、楽しく過ごせることを願っております。

保護者全体会へのご出席ありがとうございました。それぞれの会で、いくつかご質問をいただきましたので、簡単に紹介いたします。

Q1：英会話の習熟度別授業、来年度の方向性は？

A：習熟度授業については、まだ決まっていませんが、保護者アンケートの自由記述に書かれていた課題や改善すべき事項等も踏まえて、来年度の教育課程（英会話授業の進め方など）について検討していきます。

Q2：1/18付お知らせの「簡易検査キット」と「抗原検査」との違いについてわかりにくいのですが？

A：「簡易検査キット」は商工会等で配布されたものを想定しています。陽性の場合、検査機関等で改めて検査していただかなくても、既定の日数、登校を見合わせてください。キットで陰性の場合、ご自身の判定によるものではなく、集団感染防止（臨時休業の必要性があるかどうか判断をする資料とする）のため、検査機関や医師による陰性証明書を学校に提出していただくようお願いしています。

Q3：小学部で、念のために欠席する子供へのZoom配信の教科が特定されているのはなぜですか？

A：小学生が、長時間画面を見る健康上の理由やZoomでの学習に集中できる発達段階を考慮し、教科の中でも積み上げ要素の大きい国語・算数にしました。5.6年生は英会話（教科・外国語）も配信しています。理科や社会など実技や話し合いが多い教科は、Zoomでは十分に学習できないのではないかと、中学部の教員が担当している授業は、10分の休み時間では授業準備が難しいのではないかと考え教科を特定しました。

Q4：保護者が迎えに来るまで、小学部低学年の放課後課外活動はできませんか？

A：本校では複数学年の授業を担当している教員が多く、また新たに人を雇用して6.7時間目に課外活動を行うことは難しいです。有志ボランティアの場所としての図書室利用は検討できます。

【令和3年度の卒業式について】 ・卒業式 3月5日（土）

○ 登校時刻・・・ **卒業生**（小学部6年生、中学部3年生） **8時30分**
在校生（小学部1年生～5年生、中学部1年生、2年生） **8時**

○ 卒業式・・・ **9：30～10：46**（卒業生入場9：26）

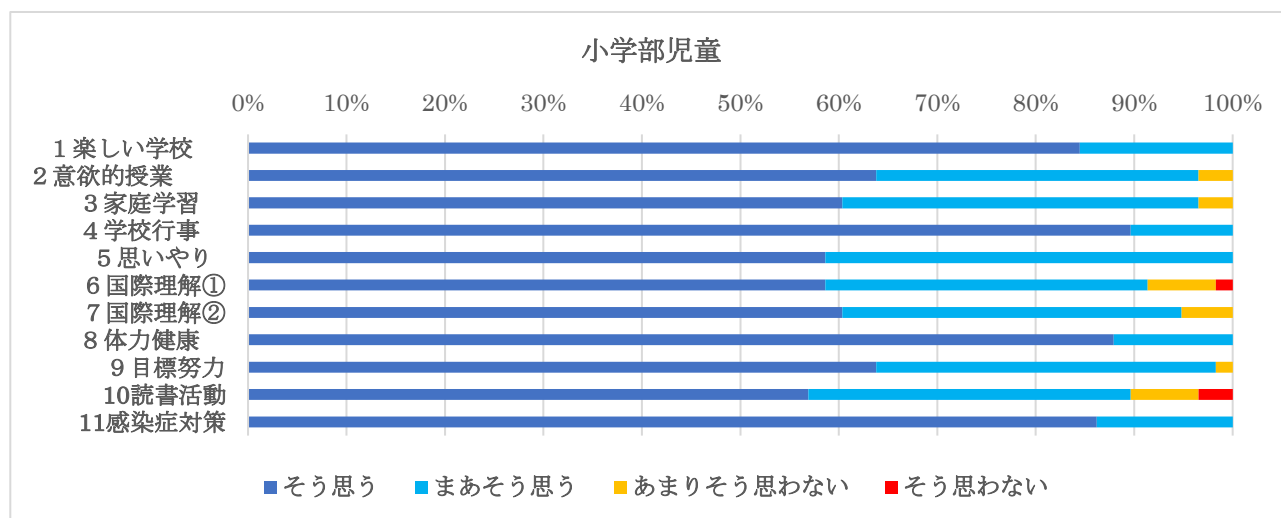
※卒業生の保護者の皆様は、記念写真の撮影がありますので、式終了後、そのまま座席でお待ちください。

○ 下校・・・ **11：30 全員下校**

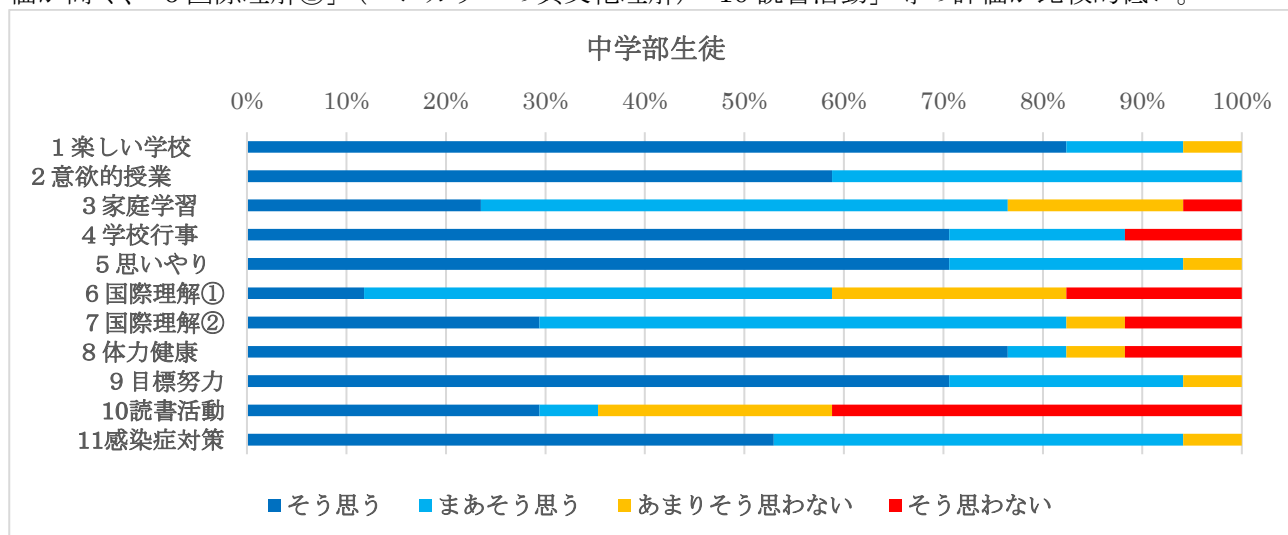
※本年度の卒業式は、新型コロナウイルス感染症防止のため、児童生徒・教職員・卒業生ご家族のみで挙行いたします。

2月5日(土)の保護者会・全体会で、昨年12月に実施しました「学校アンケート」をまとめた「令和3年度学校評価」の概要を報告いたしました。報告資料の要点を絞り「学校だより」として、お伝えします。

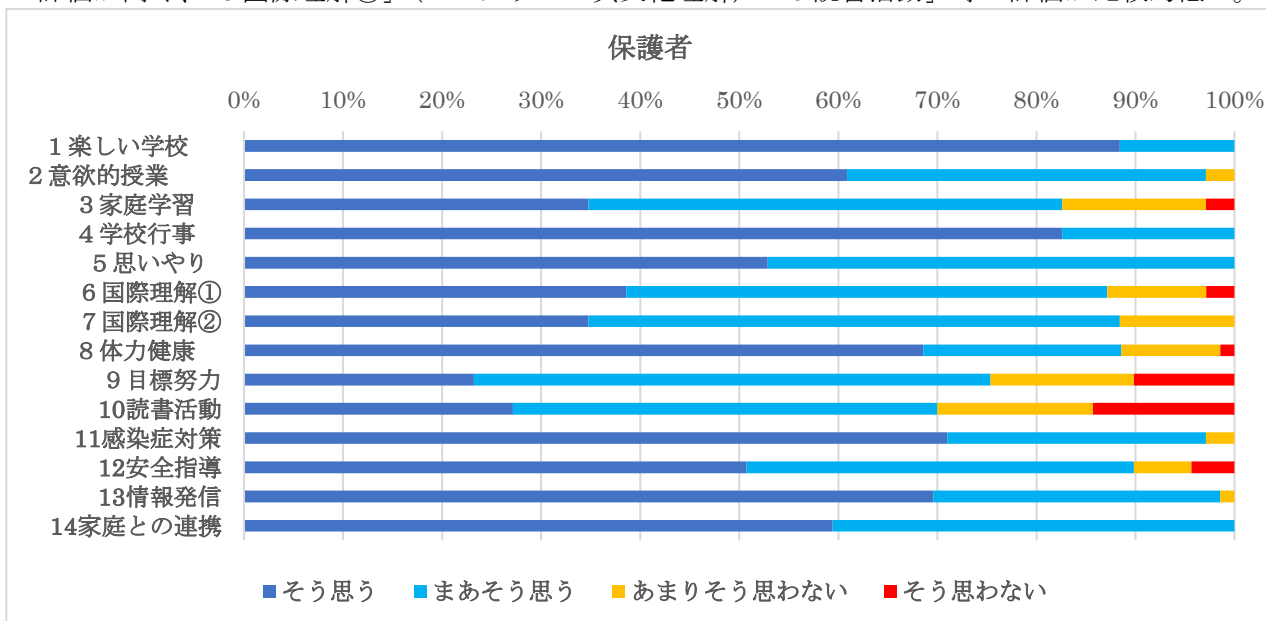
1 「小学部児童」「中学部生徒」「保護者」「教職員」の全体的傾向



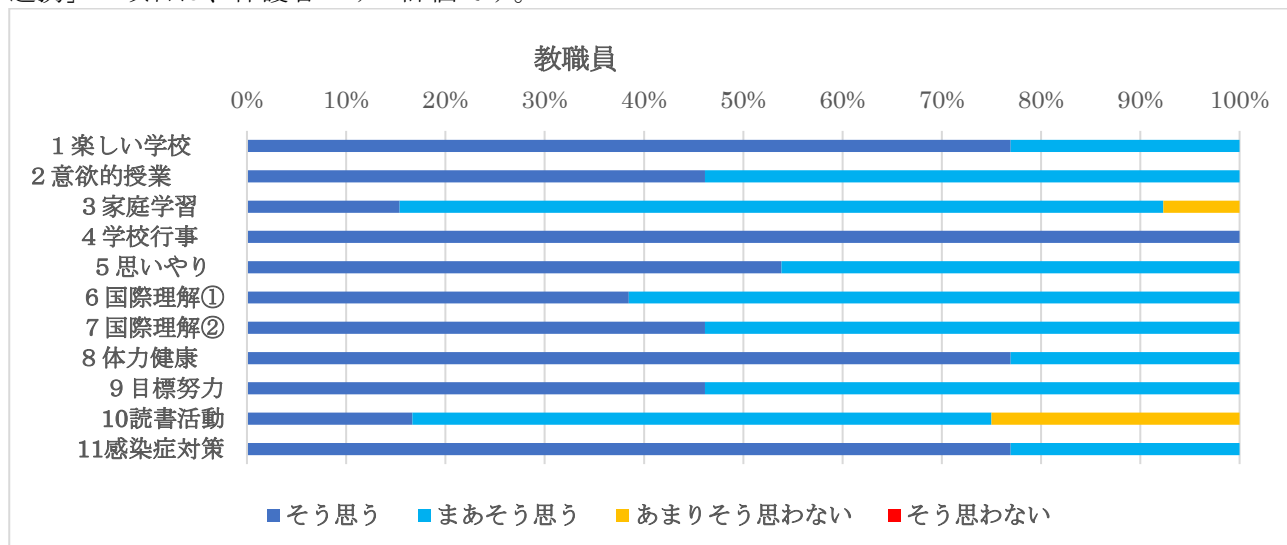
小学部全体として、「1 楽しい学校」「4 学校行事」「5 思いやり」「8 体力健康」「11 感染症対策」の評価が高く、「6 国際理解①」(ハンガリーの異文化理解)「10 読書活動」等の評価が比較的低い。



中学部全体として、「1 楽しい学校」「2 意欲的授業」「5 思いやり」「9 目標努力」「11 感染症対策」の評価が高く、「6 国際理解①」(ハンガリーの異文化理解)「10 読書活動」等の評価が比較的低い。



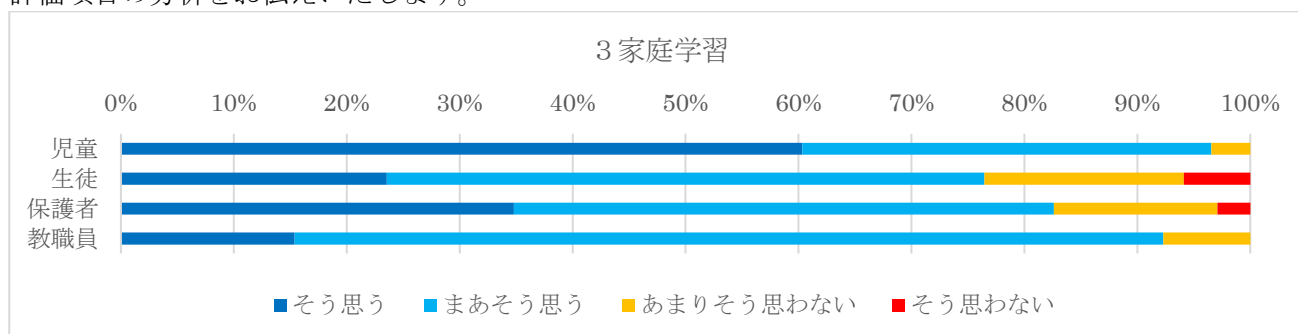
保護者全体では、「1 楽しい学校」「2 意欲的授業」「4 学校行事」「5 思いやり」「11 感染症対策」「13 情報発信」「14 家庭との連携」の評価が高く、「3 家庭学習」「6 国際理解①」（ハンガリーの異文化理解）「9 目標努力」「10 読書活動」の評価が比較的低い。なお、「12 安全指導」「13 情報発信」「14 家庭との連携」の項目は、保護者のみの評価です。



教職員全体では、全ての項目で評価が高く、「3 家庭学習」「10 読書活動」の2つの項目は、比較的评价が低い。

2 評価項目別の比較結果

「3 家庭学習」「6 国際理解①」「7 国際理解②」「9 目標努力」「10 読書活動」において、評価が低かったり、保護者と児童、生徒、教職員で評価の乖離が見られたりしました。そこで、課題と考えられる評価項目の分析をお伝えいたします。

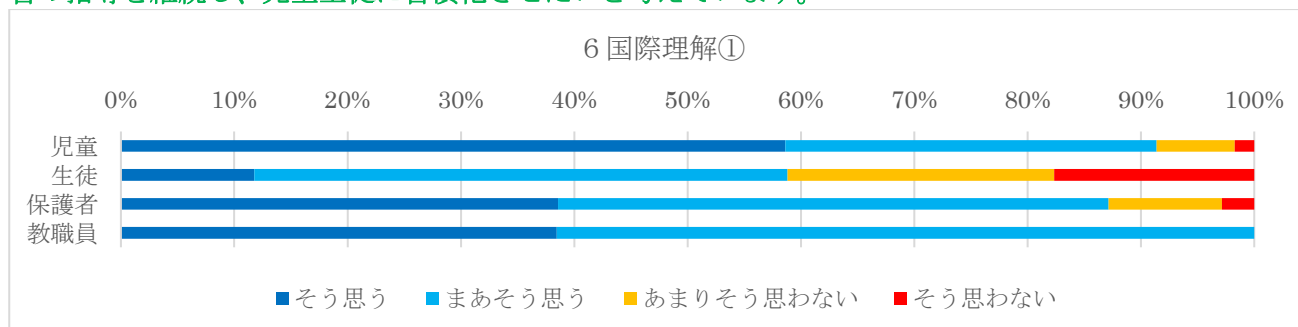


家庭学習の評価項目では、生徒、保護者の評価が比較的低く、今年度の課題と言えます。

保護者からは、次のようなご意見もありました。

自分の好きな事優先で学習は後回し。集中力がなく、途中で別のことをしてしまう。宿題しか勉強しない。宿題以外の学習に興味がない。ゲームに夢中で勉強がおろそかになっている。

生徒（中学部）の評価が低い要因は、中学生は家庭学習＝テストの点数（結果）、つまり学習成果と家庭学習の時間を結びつけて考える生徒も多いのではないかと分析しています。これまでに同様に家庭学習の手引き等を活用し、家庭学習の指導を継続し、児童生徒に習慣化させたいと考えています。



国際理解①（ハンガリーの異文化理解）の評価項目では、「教職員」は評価が高いが、「児童」「生徒」「保護者」の評価は高い方ではない。国際理解②（日本文化の理解）も他の評価項目と比較すると低く、国

際理解①と②は、今年度の課題と言えます。

保護者からは、次のようなご意見もありました。

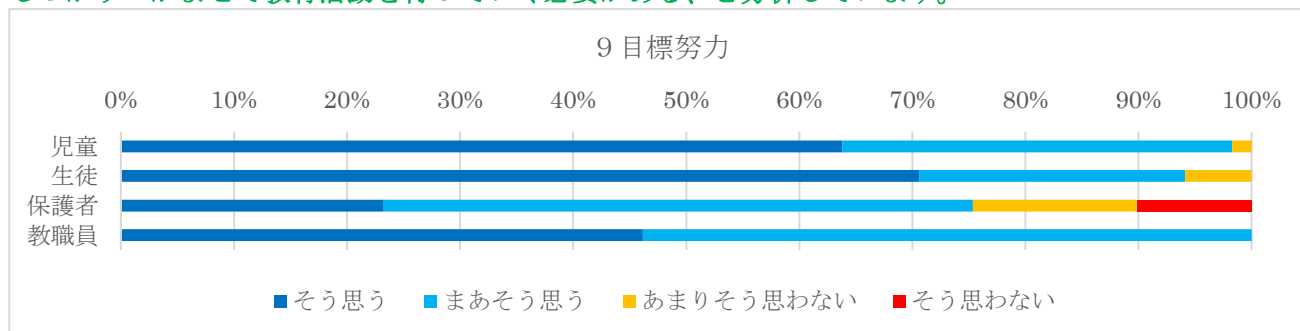
ハンガリー人との交流について子どもから話を聞かないから。(4)校庭での遊び場の取り合い、いじめなどが多くあり、V校生に対して良いイメージを持っていない。

V校とのトラブルが起こった場合は、次のように対応しています。

トラブルがおこったら、昼休みや休み時間など、教員が見守りをしているので、すぐに教員に言うように指導しています。坂井先生、V校の先生の立会いのもと、両者の言い分をよく聞きながら解決を図っています。V校では、その後、保護者に連絡がいき、ペナルティがあるとのこと。

今は、コロナ禍で中断していますが、V校の子どもたちと交流することを通して、トラブルの起きない子ども同士の関係づくりを目指しています。

児童生徒の評価が低いのは、国際理解につながる学習をやっているが、意識化されてない。ねらいをしっかりとつかませて教育活動を行っていく必要がある、と分析しています。



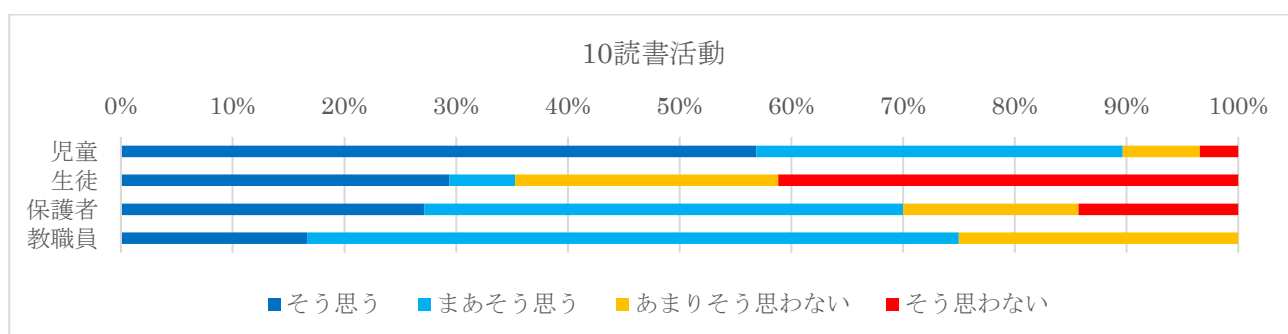
目標努力の評価項目は、「児童」「生徒」「教職員」と「保護者」との評価の差が大きい。児童生徒は、その多くが目標に対して努力していると回答し、教職員も努力していると評価している。しかし、保護者の約25%は、評価していない。今年度の課題と言えます。

保護者からは、次のようなご意見がありました。

学期初めに何を目標に立てたかわからない。それに向けての努力は家の中ではみない。(4)目標を立てたのかどうかも知らないです。(4)自分の立てた目標を忘れている。(6)

保護者と教員の評価の乖離が大きいことは、次のように分析しています。

教員の評価が良いのは、子どもたちと目標を共有し短いスパンで生徒を見ているからだと考えられる。学期の目標、行事ごとの目標など、その都度その都度目標を設定し、振り返りをさせながら、よくやっていると評価。これに対し、保護者の評価は、もっと長いスパンでお子さんを見ていて、しかも勉強の目標を想定している方も多いと考えられる。また、目標が保護者と共有されていないことも一因かもしれない。



読書活動の評価項目は、「児童」「生徒」「保護者」「教職員」ともに、他の評価項目と比較すると評価が低いが、「児童」の90%、「保護者」の70%、「教職員」の75%が、昨年度も今年度も読書している、または今年度の方が読書していると回答している。

保護者からは、次のようなご意見もありました。

中学生になって、学習する時間に取られている。中学部になり、テスト勉強に時間を使うことが多い。帰宅後、携帯でYouTubeばかり見ている。ゲームばかりしている。本を読もうとしない。

読書活動の中学生の評価が低いことや対応を次のように考えました。

時間の使い方をもっと意識させる。家庭での過ごし方も見直しをする。中学生はそう簡単に読書量が増えないのが、悩みである。日本の学校でも同じように課題となっている。中学生になり、これまで読書に使っていた時間が学習に変わるのは、一般的な現象である。(むしろ望ましい。)そこで、今年度はあえて課題として取り上げていません。

3 今年度の主な成果 次の3点を挙げるができます。

「1 楽しい学校」「2 意欲的授業」「4 学校行事」

○意欲的に学習に取り組み、学校行事でも達成感を味わい、楽しい学校生活を送ることができた。

「5 思いやり」

○思いやりの気持ちをもって周りの友達等に接することができた。

「11 感染症対策」

○新型コロナウイルス感染症防止の対策を、日々の生活の中できちんと実践できた。

4 今年度の主な課題 次の3点を挙げるができます。

「3 家庭学習」

○家庭学習（自主的な学習）の指導に力を入れて取り組んできたが、個人の家庭学習への取り組みに差がある。

「6 国際理解①」「7 国際理解②」

○実際には国際理解の学習をしているが、児童生徒の意識が低い。

「9 目標努力」

○立てた目標達成のための取り組みに差がある。○立てた目標を保護者と共有できてなかった。

5 次年度の取組みの重点

学校評価で見えた課題から、令和4年度は次の点に重点を置いて取り組んでいきます。

○家庭学習する力をさらに伸ばす。

（宿題・自主学習を含む）

○ねらいをつかませて国際理解教育を実践する。

（国際理解教育の多様な活動とその意識化を図る）

○児童生徒が立てた目標の達成に向けて努力する力を伸ばす。

（学校と家庭で目標を共有して支援する）

6 自由記述のご意見への対応

最後に、自由記述でいただきましたご意見に対する今後の対応をお伝えします。

○部活動

文化部は考えていません。今年度スタートした運動部は、コロナ禍での運動不足解消をねらいとし、週2回5年生以上で実施しています。子どもの評価も高いので継続します。

○担任の先生の授業参観、外国語の授業参観、1校時を避ける授業参観

コロナ感染防止のため、止むを得ず各家庭一人の参観でした。また、ZOOMでは授業の様子や雰囲気配信することは困難と考えます。直接授業参観してもらい、担任の授業や英会話、ハンガリー語の授業を参観できるよう配慮していきます。1校時を避けて計画していきます。

○お弁当の時間、行事の写真、運動会のメダル

お弁当時間20分を確保します。行事にプロの写真屋を入れることや運動会のメダルを全部金メダルにすることについては、現状を継続いたします。

○V校との関係

交流活動を含めて、今後、児童生徒同士のコミュニケーションづくりを進め、さらに関係が良くなるように努めます。

○あいさつの声が小さい

コロナ禍ですが、校内でのあいさつをもう少し大きな声で、来客等にも意識してするように、全校で指導していきます。

○学校が閉鎖的になった。コロナ渦を考慮しても、もう少し子供の様子が分かるようにして欲しい。

特別な持ち物あるいは提出物がある時、特に保護者のコメント記入の依頼等の連絡がある時は、Googleチャットも活用し、連絡することを前向きに検討していきます。

お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。